
日韓両言語の学習者の作文にみられる母語干渉の諸相

高木 南欧子 / 尹 亭仁

日本語においては、「作文対訳DB」（国立国語研究所）から、韓国語母語話者の「助詞」、「アスペクト」の使用について誤用の抽出を行い、整理を行っている。2020年度前期においては、相違がみられる助詞について、韓国語母語話者である上級日本語学習者に対し、誤用訂正のフィードバックに説明を添える試みを行った。現在、韓国

からは、工学や経済学などを専門とし、語学を専門としない日本語学習者が増加している。学習過程において、母語との比較を提示し、注意喚起できるよう、アスペクトも含め、フィードバック方法を検討していく。

韓国語の場合は、昨年度に続き、今年度も初級・中級・上級のクラスから集めた作文および夏休み

の1か月間の日記（2クラス）を対象に、母語干渉が顕著にみられる「助詞」「アスペクト」「連結語尾」を中心に誤用を集め、整理している。今年度の前期に「地域言語特講韓国語Ⅰ」で誤用が頻

出する助詞ニ・カラ・デ・カラ・ノの誤用例を取り上げ、注意を促した。今年度はアスペクトの誤用例についても、助詞のように来年度の授業で提示できるようにパターンの整理をしている。

